取扱説明書

DAYTONA corp.

S74612①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品を譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

バイク専用 バッテリーブースター	適応車種	商品NO.
	DC12V 車専用	74612

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※　取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※　商品の保証については当社独自の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書とレシート、購入証明を出来るものと一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 破裂注意	表記の注意を告げるものです。	 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。
 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。		

⚠警告

 禁止	• 鉛バッテリー以外の蓄電池に使用しないでください。本器が過熱したり、バッテリーの液漏れ・発熱・爆発の原因になります。 • 本器はＤＣ１２Ｖバッテリー及びＤＣ１２Ｖ機器の接続のみ使用ができます。 • ③ＤＣアダプターは本器の充電専用品です。①本体のＤＣ１２Ｖシガーソケットへ差し込んだり、ＤＣ１２Ｖポータブル電源の電源ハーネスとして使用しないでください。
 破裂注意	• ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種、第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。火災や引火爆発する原因となります。 • 直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所では使用しないでください。本器の過熱・焼損、バッテリーの液漏れ・発熱・変型の原因になる恐れがあります。 • 振動・塩害・化学性ガス害の受けやすい場所での保管や使用はしないでください。漏電・感電や故障の原因になる恐れがあります。 • 本器の交流入力はＡＣ１００Ｖ、直流入力はＤＣ１２Ｖです。指定以外の電源電圧で使用しないでください。本器が過熱したり、感電・ケガの原因になる恐れがあります。
 火気厳禁	• タバコなどの火の気のある場所、風通しの悪いところでは使用しないでください。バッテリーが引火爆発したり、本器が過熱する原因になる恐れがあります。 • 充電中のバッテリーは爆発性のガスが発生します。常に換気してください。

2013/09/25

⚠注意

実施	• ①本体のブースターケーブルクランプをバッテリーに接続するときは、必ずこの他の機器は取り外してください。また、充電停止時も各アダプターコードを各電源から引き抜いた後、ピンジャックを外してください。接続・取り外し順序を間違えると発生するスパークによりバッテリー爆発の原因になります。 • ①本体のブースターケーブルクランプはバッテリーの端子に正しく接続してください。本器が過熱したり、バッテリー爆発の原因になります。バッテリー⊕端子に赤クランプを接続、バッテリー⊖端子に黒クランプを確実に接続してください。 • 定期的（約３ヶ月毎）に内蔵バッテリーの残量を確認し、充電してください。
分解禁止	• 分解したり、改造したりしないでください。発熱・発火・火災や感電・ケガの原因となります。分解、改造した際は保証対象外になります。
水ぬれ禁止	• 本器に防水機能はありません。湿度の極端に高い場所や、雨、雪などの水分のかかる場所での保管・使用は避けてください。漏電・感電・破損の原因になる恐れがあります。
その他	• 充電中または、保管の際には、幼児の手の届かないところで行ってください。 • 異常や不具合が生じた場合には、直ちに使用をやめ、お買い求め頂いた販売店に相談してください。本器の過熱や感電、バッテリーの爆発などの原因になる恐れがあります。 • 内蔵バッテリー液が衣服、車体などに付着した場合、直ちに清水と石鹸で洗い流してください。万一皮膚や目に付着した際には、清水で１０分以上洗い専門医の診察を受けてください。 • バッテリーへの接続を外す際は、必ずアース（マイナス）側から行ってください。 • 本器は使用中に、多少発熱することがあります。本器の上に物を置いたり、近くにものを置かないようにしてください。特にランプを連続点灯使用した場合、ランプレンズはかなり高温となりますので、直接触れないようご注意願います。 • 各アダプターコードはコードを引っ張らず必ずピンジャックを持って抜いてください。また、使用しない時は、ピンジャックをＣＨＡＲＧＥ（充電）ソケットから抜き、本器のＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＦＦにしておいてください。アダプターコードが破損し、感電・発煙・発火・火災やケガの原因になる恐れがあります。 • 本器は完全に劣化したバッテリーを復活させることはできません。 • 本器の使用時及び保管時は、直立状態にしてください。

本商品の特徴

- ●１２Ｖ １７ＡｈのMF シールドバッテリーを内蔵し、バッテリー上がり等緊急時のジャンプスタート電源として使用可能。バイクの小さなバッテリー端子でも車載状態で確実にくわえることができる小型クランプを採用。小型（３Ａｈ）～大型（２８Ａｈ）バッテリーまで対応。
- ●ＤＣ１２Ｖ出力のシガーソケットを搭載。最大８４WまでのＤＣ１２Ｖ機器のポータブル電源として使用可能。
- ●夜間作業時や屋外で活躍するスポットライトを内蔵。球切れ時には交換可能な１２Ｖ １０Wのバルブ電球を採用。
- ●出力系統には保護回路付き。（ブレードヒューズ：１５Ａ）スペアヒューズ　２ヶ付属。
- ●内蔵バッテリーの残量状態を３段階表示する３色のＬＥＤインジケーターを採用。充電の必要性を容易に目視可能。充電は付属のＡＣまたはＤＣアダプターのどちらからでも可能。

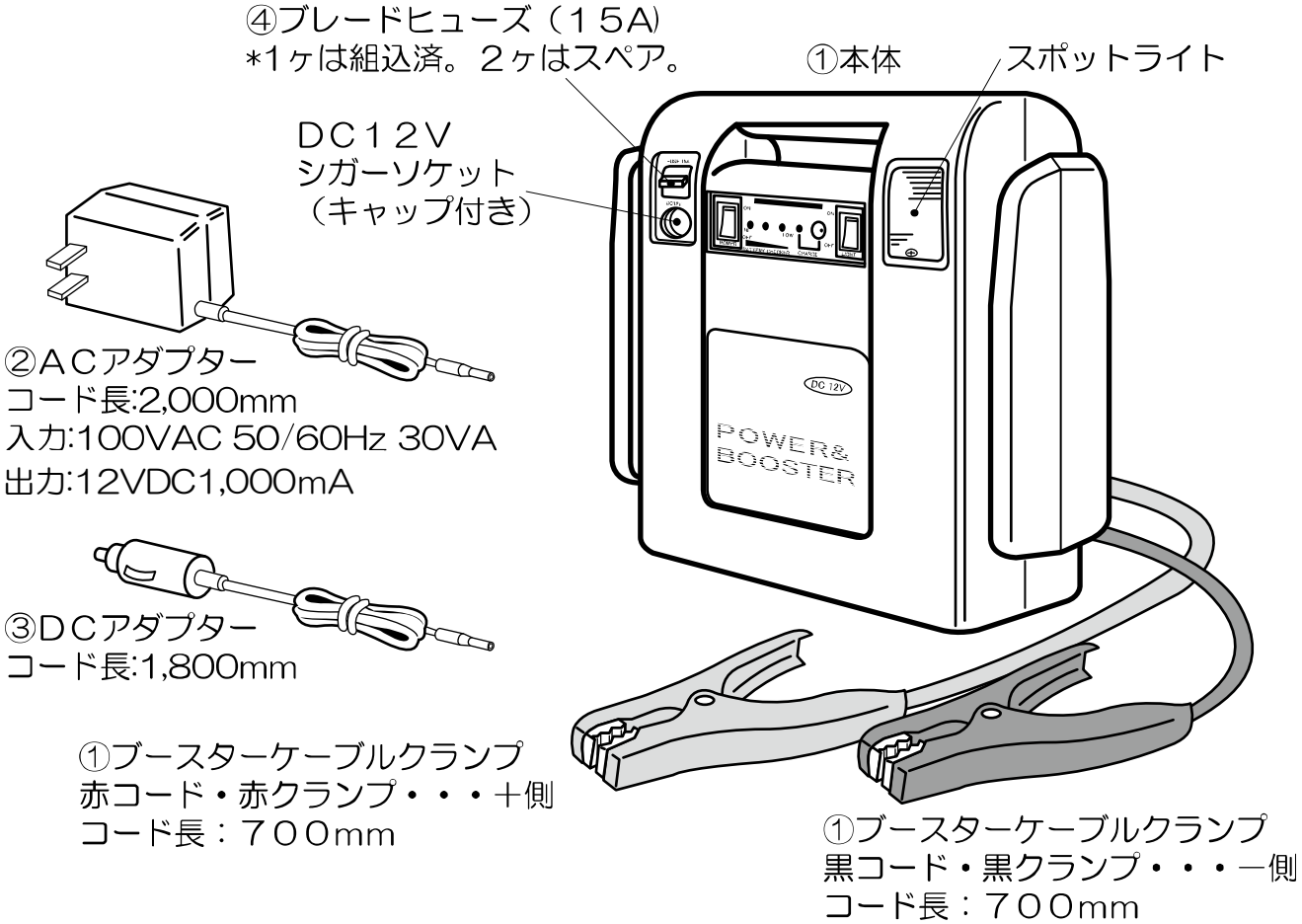
主な仕様

ジャンプスタート可能バッテリー	入力	出力（最大）	ブースト出力電流（瞬間最大電流）	本体寸法（mm）			本体重量（ｋｇ）
				巾	奥行き	高さ	
１２Ｖ鉛バッテリー３～２８Ａｈ	ＡＣ１００Ｖ５０／６０Ｈｚまたは ＤＣ１２Ｖ	ＤＣ１２Ｖ（８４Ｗ）	４００Ａ	250	130	280	約6.5

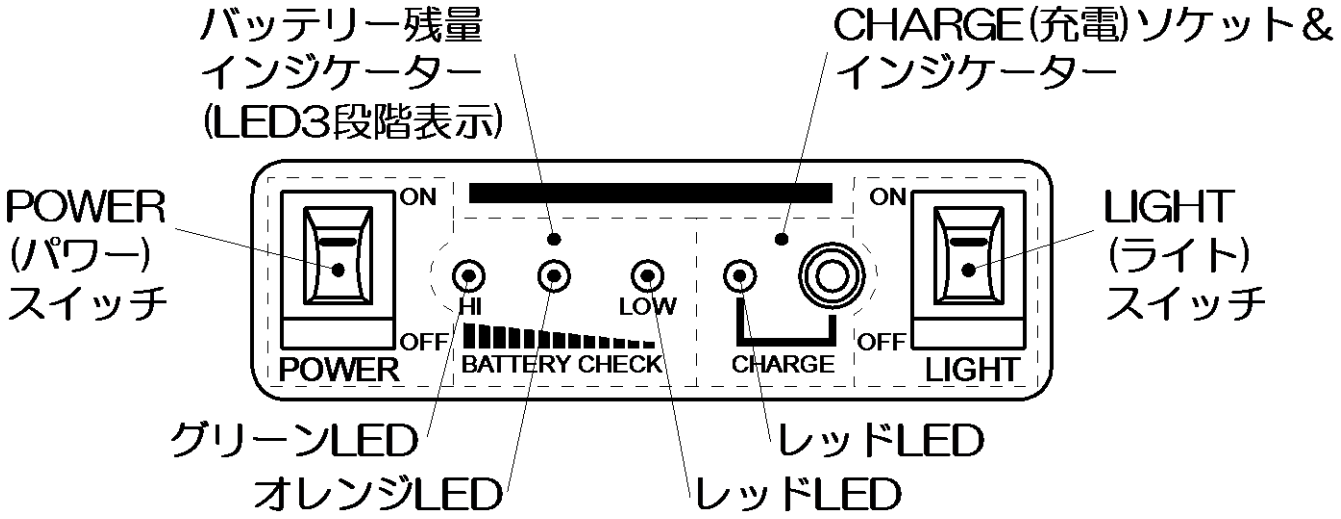
商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	本体	250x130x280	1	③	ＤＣアダプター	ＤＣ１２Ｖ	1
②	ＡＣアダプター	ＡＣ１００Ｖ５０／６０Ｈｚ (*PSE 登録済)	1	④	ブレードヒューズ	１５Ａ	2

付属品　イラスト



①本体の操作パネル　拡大図



ＰＯＷＥＲ （パワー） スイッチ	①本体の内蔵バッテリーから出力されるＤＣ１２Ｖ電源のＯＮ／ＯＦＦ制御を行います。 ・内蔵バッテリー残量の確認・シガーソケットの出力・ライト点灯の準備
ＣＨＡＲＧＥ （チャージ） ソケット& インジケーター	① 本体の内蔵バッテリーを充電するときに使用します。 ② DC アダプターでの充電中・・・レッドＬＥＤが点灯。 ③ AC アダプターでの充電中・・・レッドＬＥＤが点滅。
ＬＩＧＨＴ（ライト） スイッチ	①本体に内蔵しているライトのＯＮ／ＯＦＦを行います。 *ＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチがＯＮ時にしか点灯しません。 １２Ｖ　１０Ｗのバルブ電球で夜間作業時や屋外でスポットライトとして活躍します。 満充電状態からの連続点灯では１０時間以上使用可能です。
バッテリー残量 インジケーター （ＬＥＤ３段階表示）	①本体の内蔵バッテリーの残量を目視確認できます。 満充電状態・・・・・グリーン・オレンジ・レッドＬＥＤが点灯 ＜電圧：１２．７±０．２Ｖ以上／容量：７０～１００%＞ 残量約５０%・・・・オレンジ・レッドＬＥＤが点灯 ＜電圧：１２．４±０．２Ｖ以上／容量：５０～７０%＞ 残量５０%以下・・・レッドＬＥＤのみ点灯 ＜電圧：１２．１±０．２Ｖ以下／容量：５０%以下＞

取り扱い手順及び使用方法

実施

内蔵バッテリーは自然放電します。ご使用前に以下のいずれかの方法で必ず充電作業を行ってください。また全ての作業前には①本体のブースターケーブルクランプが背面クランプホルスターに正常な状態で収納できていることを必ず確認してください。ご使用にならない保管時でも、内蔵バッテリーは自然放電します。緊急時にご使用できなくなる場合があります。定期的（約３ヶ月毎）に内蔵バッテリー残量を確認し、充電してください。
①本体のブースターケーブルクランプは常にスタンバイ状態です。POWER スイッチが OFF でも使用可能なので、⊕/⊖クランプの接触にはご注意ください。

※充電手段によって作業が異なります。以下を参照ください。

②ACアダプターにて、AC１００Vコンセントより充電する方法

1. ①本体のCHARGE（充電）ソケットに②ACアダプターのピンジャックを差し込み、②ACアダプターをAC１００Vのコンセントへ差し込みます。
2. ①本体のCHARGE（充電）インジケーターが点滅して、充電を開始します。
3. 約２０時間(※1)で満充電状態となります。①本体のバッテリー残量インジケーター（LED3 段階表示）のグリーンLED（HI）が点灯します。(※2)
4. ②ACアダプターをAC１００Vのコンセントから引き抜き、②ACアダプターのピンジャックを取り外します。
5. ①本体のPOWER（パワー）スイッチをONにして、①本体のバッテリー残量ＬＥＤインジケーター３つ全て（グリーン・オレンジ・レッド）が点灯することを確認（満充電状態）し、再び①本体のPOWER（パワー）スイッチをOFFにします。

③DCアダプターにて、DC１２Vシガーソケットより充電する方法

***車での移動時等に充電が可能です。**

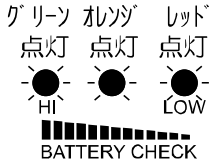
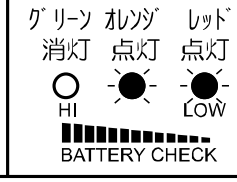
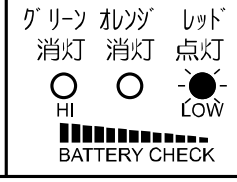
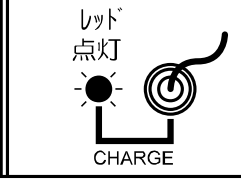
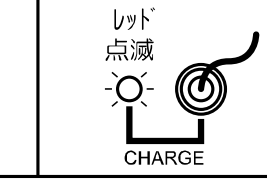
1. ①本体のCHARGE（充電）ソケットに③DCアダプターのピンジャックを差し込み、③DCアダプターのシガープラグを車載DC１２Vシガーソケットへ差し込みます。
2. ①本体のCHARGE（充電）インジケーターが点灯して、充電を開始します。
3. 約１１時間(※1)で満充電状態となります。(※2)
4. ③DCアダプターのシガープラグを車載DC１２Vシガーソケットから引き抜き、③DCアダプターのピンジャックを取り外します。
5. ①本体のPOWER（パワー）スイッチをONにして、①本体のバッテリー残量ＬＥＤインジケーター３つ全て（グリーン・オレンジ・レッド）が点灯することを確認（満充電状態）し、再び①本体のPOWER（パワー）スイッチをOFFにします。

⚠注意 **※１…本器は工場出荷前に内蔵バッテリーの液充填を行い、満充電状態にて出荷しております。充電時間は内蔵バッテリーの放電状態により異なります。充電時間はあくまで目安としてください。実際の充電時間は記載時間と異なります。**

※２…内蔵バッテリーが劣化すると、目安の充電時間の間充電してもバッテリー残量インジケーターが点灯しないことや、グリーンLED（HI）が点灯してもすぐに放電してしまうことがあります、予めご承知おきください。

※充電開始から満充電状態となっても、自動では充電を停止しません。２０時間以上連続して充電し続けますと、内蔵バッテリーに負荷がかかり寿命が短くなります。必要以上の充電は避けてください。

※車で移動中に充電される場合は、必ずエンジンが掛かっている状態でご使用ください。また①本体が移動したり、倒れないよう充分ご注意願います。

バッテリー残量インジケーター　表示例			CHARGE(充電)インジケーター　表示例	
満充電状態	満充電～残量50%	残量50%以下	③DC ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ充電中	②AC ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ充電中
				

バッテリー上がり時のジャンプスタート電源としての使用方法

1. ①本体のＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＮにして、①本体のバッテリー残量ＬＥＤインジケーター３つ全て（グリーン・オレンジ・レッド）が点灯することを確認（満充電状態）し、再び①本体のＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＦＦにします。

⚠注意**※①本体の内蔵バッテリー残量が５０%以下の場合は、セルスターターが勢いよく回転せずクランキングできないことがあります。充電が必要です。**

2. 弱っているバッテリー搭載車のイグニッションキーをＯＦＦにします。
3. 弱っているバッテリーの⊕、⊖端子がみえるように、周辺部品を取り外します。
4. ①本体のブースターケーブルのプラスクランプ（赤）を背面ホルスターより取り外し、弱っているバッテリーの⊕端子に確実にくわえます。
5. ①本体のブースターケーブルのマイナスクランプ（黒）を背面ホルスターより取り外し、弱っているバッテリー搭載車のボディーアース、またはバッテリーの⊖端子に確実にくわえます。
6. 弱っているバッテリー搭載車のイグニッションキーをＯＮにして、エンジンを始動します。

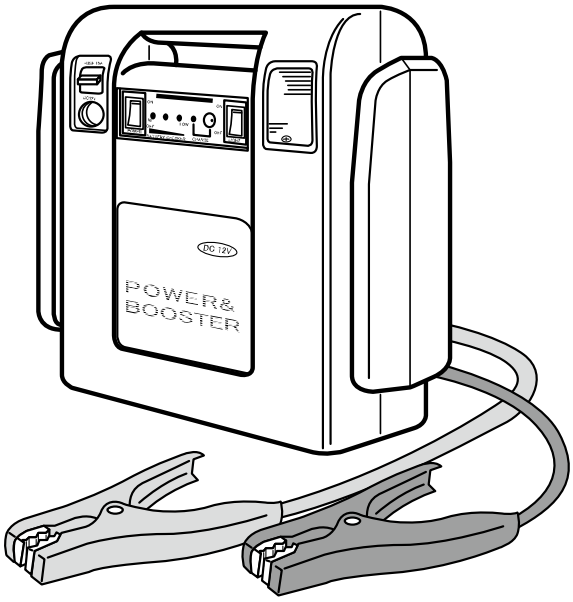
⚠注意※接続された車両のセルスターターは連続して５秒以上回転させないでください。再度エンジン始動を試みる場合は、約３分間①本体の内蔵バッテリーを冷却させてください。連続使用は①本体のユニットに損害を生じさせる恐れがあります。

7. 弱っているバッテリーの⊖端子から①本体のブースターケーブルのマイナスクランプ（黒）を取り外し、①本体の背面ホルスターへ確実にくわえます。
8. 弱っているバッテリーの⊕端子から①本体のブースターケーブルのプラスクランプ（赤）を取り外し、①本体の背面ホルスターへ確実にくわえます。

⚠注意**※性能が低下していて、内部抵抗が異常を示している車載バッテリーへチャージしても性能が回復することはありません。比重計や内部抵抗測定器・ＣＣＡテスター等で確認し劣化している場合は、車載バッテリーを交換することをお勧めします。**

※①本体のブースターケーブルクランプどうしが接触しないように慎重な取り扱いをお願いします。接触しますと①本体のユニットが破損するか、あるいはショートまたは爆発を引き起こすかもしれません。
※バッテリーターミナルへの接続は正確に行ってください。極性の逆接続は①本体のユニットが破損、ショートまたは爆発を引き起こす恐れがあります。
※原付スクーターや一部車両ではバッテリー端子がむき出しになっていないコネクター接続のものがあります。このタイプには使用できません。
※取り外しの際には、ブースターケーブルのコードを引っ張らないでください。しっかりクランプを開き、取り外しを行ってください。

①本体



①ブースターケーブルクランプ
赤コード・赤クランプ・・・＋側
コード長：７００mm

①ブースターケーブルクランプ
黒コード・黒クランプ・・・－側
コード長：７００mm

ＤＣ１２Ｖ専用機器のポータブル電源としての使用方法

屋内外でのＤＣ１２Ｖ専用機器の使用時には、①本体のシガーソケットより電源供給が可能です。（最大出力８４Ｗまで対応）１５Ａブレードヒューズ（スペア２ヶ付属）の保護回路を内蔵しています。

1. 使用したい機器のＤＣ１２Ｖシガープラグを、①本体のシガーソケットのゴムキャップを外してから、差し込みます。
2. ①本体のＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＮにしてから、使用したい機器の電源を入れます。
3. 取り外しは逆の手順で行ってください。

⚠注意 **※使用する機器により使用可能時間は左右されます。この件に関してのお問い合わせにはお答えしかねますので、予めご了承願います。**

※ＤＣ１２Ｖシガーソケットを使用しない時は、①本体のゴムキャップを必ず取り付けておいてください。

照明のない場所での夜間作業、屋外でのスポットライトとしての使用方法

１２Ｖ１０Ｗのバルブ電球を内蔵しています。満充電状態からの連続点灯では１０時間程度使用可能です。

1. ①本体のＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＮにしてから、①本体のＬＩＧＨＴ（ライト）スイッチをＯＮにするとライトが点灯します。

⚠注意 ※①本体のライト点灯中は、ライト周辺が発熱します。特にライトレンズは非常に高温となり直接触れますと火傷する恐れがあります。使用中・使用直後は充分ご注意願います。

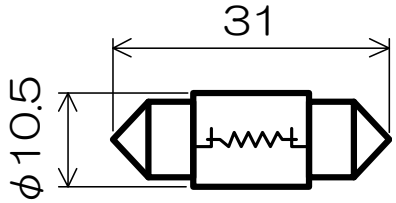
※ジャンプスタート時や、ポータブル電源としての使用時にも、ライトはご使用いただけます。しかし内蔵バッテリーの消耗が早まりますので、連続点灯時間は短くなります。

＜バルブ電球の交換方法＞

内蔵バルブ電球の補修品は弊社ではご用意いたしておりません。ホームセンター等の量販店やカー・バイク用品店にて、以下のものをお買い求めいただけますようお願い致します。

使用バルブ電球　　車内灯（車用ルームランプ等）　–両口金-　１２Ｖ　１０Ｗ相当
ＫＯＩＴＯ　２２５４相当

寸法は下記参考



1. ①本体のＬＩＧＨＴ（ライト）・ＰＯＷＥＲ（パワー）スイッチをＯＦＦにしてから、①本体のライトレンズ固定ビスを緩めて取り外します。
2. ①本体のライトレンズの下側を、手前に引き出し・取り外します。

⚠注意 **※①本体のライトレンズ上側にはツメがありますので、無理に取り外しますとツメが破損しますので、充分ご注意願います。**

3. バルブ電球を手前に抜き取ります。
4. 取り付けは逆の手順で行ってください。

⚠注意 ※指定定格以上のバルブ電球を使用しますと、①本体のライトレンズや周辺部分が発熱により溶け、火災につながる恐れがあります。

※交換したバルブ電球のガラス部分に指紋・油分等付着していますと、早期の球切れの原因となります。交換後・点灯前には、必ずガラス部分を乾いた布等で、完全に脱脂してください。

トラブルシューティング

・バッテリー残量インジケーターが点灯しない	以下の原因が考えられます。 ・　ヒューズが切れている。 ⇒スペアヒューズと交換してください。 ・　内蔵バッテリーが放電している。 ⇒②ＡＣアダプターまたは③ＤＣアダプターのどちらかで充電してください。
・ＤＣ１２Ｖシガーソケットからの出力ができない	・　①本体の内部回路の破損。 ⇒お買い求めの販売店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。 *最大出力を超えた機器の使用はできません。
・スポットライトが点灯しない	以下の原因が考えられます。 ・　ヒューズが切れている。 ⇒スペアヒューズと交換してください。 ・　バルブ電球が切れている。 ⇒　＜バルブ電球の交換方法＞　を参照して、新品と交換してください。 ・　内蔵バッテリーが放電している。 ⇒②ＡＣアダプターまたは③ＤＣアダプターのどちらかで充電してください。 ・　①本体の内部回路の破損。 ⇒お買い求めの販売店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
・③DCアダプターでＣＨＡＲＧＥ（充電）インジケーターが点灯しない ・②ACアダプターでＣＨＡＲＧＥ（充電）インジケーターが点滅しない	以下の原因が考えられます。 ・　①本体の内部回路の破損。 ・　②ＡＣアダプターまたは③ＤＣアダプターの破損。 ⇒お買い求めの販売店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
・満充電状態だが、ジャンプスタートできない。 ・①本体の内蔵バッテリーがすぐに上がってしまう。	内蔵バッテリーの劣化が考えられます。 保管時に充電を行わなかったり、長期の放電状態からの充電では本来の性能を復活させることはできません。 充電すれば電圧は上がりますが、内部抵抗が増大している内蔵バッテリーでは、満充電状態の表示でもジャンプスタート電源として使用した場合に、内蔵バッテリーがすぐに上がってしまうことがあります。この場合は内蔵バッテリーの寿命と判断します。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで